

# HAPPY新聞 No.6

発行 社団法人 日本新聞協会

〒100-8543  
東京都千代田区幸町2-2-1  
日本プレスセンタービル7階  
電話：03-3591-4637  
http://www.readme-press.com



## CONTENTS

### HAPPY NEWS 2009 入選作品発表

HAPPY NEWS 2009を振り返って 表彰式プレゼンター 杏さん	10
私にとっての新聞インタビュー 宮根誠司さん 福山雅治さん 小泉今日子さん	11 12

## 新聞で見つけた HAPPY NEWSを届けます!

4月6日は「新聞をヨム日」。日本新聞協会はこの日に合わせて「HAPPY NEWS 2009」を発表します。

新聞を読んでところがあたたかくなったり、勇気がわいてくるような新聞記事を切り抜き、その理由を書いて応募するこのキャンペーン。6回目の実施となる今回は、国内外から過去最多となる1万2025件ものHAPPYな記事とコメントが集まりました。

そして、選考の結果、今年度のHAPPY NEWS大賞を含むHAPPY NEWS計19作品が決定しました。HAPPY新聞では、この19作品をご紹介します。ほか、大活躍中の福山雅治さん、宮根誠司さん、小泉今日子さんの3人の「HAPPY」もご紹介します。

この新聞を読んだみなさんが幸せな気持ちになれますように。



### INTERVIEW

## 福山雅治さん

実は僕、新聞少年だったんです。

——新聞にまつわる思い出って、何かありますか？

実は僕、新聞少年だったんです。小学校高学年から中学生のころかな、母と兄と3人で、区域を分担して、毎朝5時から配達してたんす。長崎ですから坂が多いので、きつかったですよ。肩からこう新聞入れをたすき掛けにして、細い路地を走って配達してました。

まだ子どもだから、朝暗いとお化けが出るんじゃないかって、こわくてね。早起きのおじいさんとか、家の前で体操しながら新聞を待ってるんですよ。僕が新聞を渡すと遅かったのうーなんて言われて(笑)。

長崎の地方紙だったんですけど、まさか自分が配達した新聞の一面に自分が載ることになるとは、もちろんそのときは想像すらしてませんでしたね。

← 11面へつづく...





# 17年間、客と二人三脚

## やすらぎ荘へ寄託200回



「お客さまと暮らすこと、寄託生活は心強いけれど」と笑顔の熊谷さん(後方)

### 毎月1万円「今後も」

社会福祉法人後援福祉村「やすらぎ荘」(筑前市)へ毎月1万円の寄託17年間続いている。筑前市大町の美容家代表、熊谷早さん(61)が、今月50回を迎え、筑後地区で最長になった。やすらぎ荘の山田善博(60)から10日、感謝状を贈られた熊谷さんは「お客さまから頂いたお金を活かしている。みんな喜んでくれて」と笑顔を見せた。

### 久留米市の熊谷さんに感謝状

## 社会人1年生 継続力を学ぶ

松下 隆さん 23歳(福岡県)

新聞の寄託欄に熊谷清子美容家という名が載せられていたのは知っていました。そのような人に寄託されているのだらうと頭の隅でぼんやりと思っていたのですが、この記事を読んでみるのかが理由を知ることができ、また、熊谷さんの笑顔から幸せをいただきました。17年間、お客様からのお金の一部を寄託し続け、200回を迎え、最初の寄託先からのお札の言葉に感謝して読んでいます。

HAPPY NEWS 一般 一般の方から届いた HAPPY NEWSです。

# HAPPY NEWS 大賞



## 娘と泣いた 最高の誕生日プレゼント

長谷川知子さん 35歳(愛知県)



「またまた、その日は私の誕生日でした。何気なく聞いた新聞の1ページ。そこに載っていたのがこの「ヒッチハイクで春つかむ」でした。記事を読み進むうちに、感動の波が幾度となく私の心に打ち寄せ、読了終わるころには、涙と鼻水で顔面ぐちゃぐちゃに。そんな私の姿を見て、「あれ？もしかしてお母さん、花粉症になっちゃったの？」と中学1年生の娘とんちんかん娘の質問にもめげず、娘にも記事を読ませようと新聞を手渡す。

## 高校入試 長岡 → 輪島 300\*<sup>+</sup>



1月16日深夜、J日長岡駅前から徒歩20分、ヒッチハイク。新潟県長岡市から石川県輪島市まで、約300キロの道のり。長岡駅で乗った列車は、新潟県長岡市から石川県輪島市まで、約300キロの道のり。長岡駅で乗った列車は、新潟県長岡市から石川県輪島市まで、約300キロの道のり。

## ヒッチハイクで春つかむ

### 前日雪で列車運休

埼玉県川越市の中学三年生川口瑠美子さん(15)が一月、石川県輪島市にある日本航空高校石川の推薦入試に向かう途中、大雪による列車運休のため母親と二人で三百キロをヒッチハイクして試験会場にたどり着き受験、合格した。母親は「よこやま」と名乗ったトラック運転手のおかげ」と感謝している。

## トラック運転手「行っちゃう」

「私立は金が掛かる」と泣いたが、タクシー運転手の父(55)に「ローションの手続きをして返金はわたしがするから」と頼み込んだ。瑠美子さんが目を覚ますと、夜は白みかけて、金沢市が近づいていた。運転手は「よし、輪島まで行っちゃう。先行車を次々と追い抜いたトラックは集合時間十分前に到着。運転手は「がんばれ」と励ました。連絡先は教えてくれた。入試の作文は偶然にも「わたしが感動したこと」四百字詰め原稿用紙一枚に深夜のヒッチハイクと母への感謝の気持ちを書いた。自宅に合格通知が届いたのは二日後だった。高校はトラック運転手を捜し出し連絡。運転手は「ああ、良かった」と小さく喜んでいる様子だった。



## 部員不足で不出場の米内沢 最後の夏に最高の一球

同校は昨夏も部員が足りず、バドミントン部や柔道部から入手を借りて11人出場。初戦で敗れたものの、4勝1敗に終わった新入生14人の活躍が目を引いた。米内沢は、最後の夏に最高の一球を打った。



高校野球最後の試合となる球式を無事に迎え達成感を感じさせる左から吉田選手、柴田選手、鈴木マネジャー

## 高校野球秋田大会開幕試合

秋田市の「まちスタジアム」で11日に開幕した第91回全国高校野球選手権秋田大会の開幕試合の始球式。部員不足で今大会に出場できなかった米内沢の野球部員

吉田、柴田両選手と鈴木マネジャー 思いを込めて始球式

## 始球式の打診 ありがとう

大杉荘子さん 51歳(秋田県)

「これこそ正にハッピーニユース。ひたむきにがんばる3人の姿を、ちゃんと見ていてくれた人がいた。県高野連の会長さん、そんな3人始球式の打診をしてくれてありがとう。高校球児の姿が、目

標が、甲子園出場だとして、そのたった一枚のキップを手にするために、日々努力する姿はかっこいいと思う。すごいと思う。その3人の今後にエールを送りたい。ハッピーニユースをありがとう。 7月12日付朝刊を読んで

## HAPPY NEWS 応募概況

6回となる「HAPPY NEWS 2009」キャンペーンは、国内外から過去最多の1万2022件の応募がありました。日本国は、ちんぷんこと、今はオランダ、カナダ、スイス、タイなど世界各地の幅広い年齢の方々が、たくましく幸せになろうと努力されています。今回は、社会、スポーツ、動物に関するもの、特にイチロー選手2009本安打達成、ゴルフの石川遼選手連、46年ぶりの菅野直、辻井伸行のピアノコンサート優勝の記者の多くが、このほか、善行、高齢化社会、海外の出来事などの時代を切り取った記事や地域の小さな話題からも、読者の心をあたたかく、勇気や希望を届けた。







### 6歳、本場の演芸コン優勝

大阪府立上方演芸資料館(ワッハ上方、大阪市中央区)で23日に開かれた「第12回ワッハ上方アマチュア演芸コンテスト」の決勝大会で、「KOHARU亭けいじろう」の高座名で出場した名古屋市千種区の小学1年生、田中啓二朗君(6)＝写真＝が最優秀のワッハ上方大賞に輝いた。同賞の最年少受賞者で、196組の頂点に立った。

啓二朗君が落語を始めたのは2年前、事故で首から下がまひするだけを負って入院していた祖父の中川政明さん(61)を笑わそうと、覚えた落語を病室で

演じてみせたのがきっかけ。漫才やコントなどを含む12組で競い合った決勝では、上方落語家の故・桂枝雀さんのDVDを見て練習を積んできた古典落語「動物園」を豊かな表情で演じきり、会場を爆笑させた。

啓二朗君は「自分もやりながら笑いかけた。うれしいです」。車いすで応援に駆けつけた政明さんは、「前日は緊張でなかなか寝付けなかったのですが、まさかこんな賞を取るとは。これを励みに楽しんで落語を続けていってほしい」と孫の大活躍に目を細めていた。(篠塚健一)

**けがの祖父 笑わせたくて**

### 笑いなんてすてきな贈りもの

吉永早織さん 19歳(東京都)

人を笑わせたいという気持ちが強いけれど、本当に笑わせるのは難しい。私は、離れた介護施設に入居している祖父がいる。父と一緒に会いに行くとき、たまに祖父がその瞬間、沈黙が流れる。祖父は病気の後遺症でうまく話せない。私は、何か楽しい話をしようと思うが、何を話せばいいのかかわらなくなってしまう。私の日常生活のあちこちに笑いがある。楽しい話があるはずなのに、介護施設での毎日は味気のないものだらけと思う。

からして余計な集め。そういって、若人は涙ごとく笑わすことができない。田中啓二朗君は、祖父を笑わせた落語を始めた。きつと、祖父を笑わせた。きつと、祖父を笑わせた。きつと、祖父を笑わせた。

▼朝日新聞 2009年8月24日付朝刊を読んで



岡山的女性 親と暮らせぬ子包む「愛」

### 手と手 伝わるぬくもり

「本当にいい言葉です。うらやまします。私も、今、お母さんと同じように、お母さんの手と手をつなぐことができています。お母さんの手と手をつなぐことができています。お母さんの手と手をつなぐことができています。」

### 手を つなげば 思いは通じる

慈愛(あわれみ)という言葉、言葉のいらないぬくもり、かなやなぬくもり、きつと今村さんかまわった。紙面からそのぬくもりは、しんぞんと伝わってくるもの。

姉は3か月程前、アルツハイマー型認知症の診断を受けた。姉の顔から少しずつ笑顔が消えていくように、悲しみに、切なさに、どうすれば姉の笑顔を取り戻せるのか、私は無い知識を頼りに悩む。そんな日々に見つけた、「手と手 伝わるぬくもり」の記事。

▼山陽新聞 2010年1月25日付朝刊を読んで



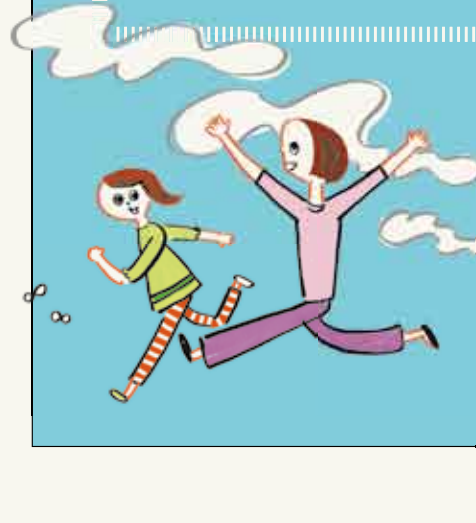
### 教師生活最後に もやもや 振り払った

瀬尾友信さん 60歳(熊本県)

今年私は私にとって人生の節目の年。36年間の高校教師生活が終わるが、混迷を深める教育現場で教師に元気が失われてきている。そんなもやもやしたものを振り払ってあげたのが小学4年生の藤崎未夏さんの作文「生まれつき左足がなくなつて生活し」。義足をつけて生活し

ているが、1年生に義足を「にせ物の足」と言われたことを担任の先生に相談。先生の勧めで、1年生に説明した体験をつづったもの。この未夏さんの体験作文の感動を勇気に表現したものが12月6日付の『読売新聞』の「編集手帳」。「自我が育つ時期に、良き先生に出会えた未夏さんと1年生の出会いが幸せなこと」を、読んで涙があふれた。36年間の教師生活で意識して取り組んできたのが子どもたちに文章を書かせること。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。

▼読売新聞 2009年12月10日付朝刊を読んで



### 私は生まれつき左足がありません

生まれつき左足がなく、義足をつけて生活している熊本県岡原町出身の、小学4年生の藤崎未夏(10)さんが、作文で綴った体験談。左足をなくしたことが、小学校入学後、周囲の子供たちから「にせ物の足」と言われたことが、1年生に説明した体験をつづったもの。この未夏さんの体験作文の感動を勇気に表現したものが12月6日付の『読売新聞』の「編集手帳」。「自我が育つ時期に、良き先生に出会えた未夏さんと1年生の出会いが幸せなこと」を、読んで涙があふれた。36年間の教師生活で意識して取り組んできたのが子どもたちに文章を書かせること。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。

### 義足の小4 勇気の授業

南阿蘇 新入生に外した姿見せ



「生まれつき左足がなく、義足をつけて生活している熊本県岡原町出身の、小学4年生の藤崎未夏(10)さんが、作文で綴った体験談。左足をなくしたことが、小学校入学後、周囲の子供たちから「にせ物の足」と言われたことが、1年生に説明した体験をつづったもの。この未夏さんの体験作文の感動を勇気に表現したものが12月6日付の『読売新聞』の「編集手帳」。「自我が育つ時期に、良き先生に出会えた未夏さんと1年生の出会いが幸せなこと」を、読んで涙があふれた。36年間の教師生活で意識して取り組んできたのが子どもたちに文章を書かせること。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。教師生活最後の出来事だ。

### 「四つ葉」の力

北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

「四つ葉」の力。北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

### 「四つ葉」の力

北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

「四つ葉」の力。北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

### 「四つ葉」の力

北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

「四つ葉」の力。北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

### 幸せ分ける心のゆとり

沖田絵美さん 33歳(北海道)

幸せ分ける心のゆとり。沖田絵美さん 33歳(北海道)

幸せ分ける心のゆとり。沖田絵美さん 33歳(北海道)

幸せ分ける心のゆとり。沖田絵美さん 33歳(北海道)

### 「四つ葉」の力

北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

「四つ葉」の力。北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

### 「四つ葉」の力

北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

「四つ葉」の力。北海道新聞 2009年7月27日付夕刊を読んで

### 大音響 動けない 重傷者、事故の惨状語る

大音響 動けない 重傷者、事故の惨状語る

大音響 動けない 重傷者、事故の惨状語る

### 感動した気概 彼らは20代

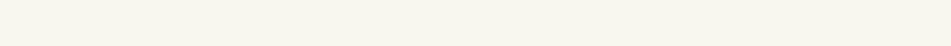
感動した気概 彼らは20代

感動した気概 彼らは20代

### 感動した気概 彼らは20代

感動した気概 彼らは20代

感動した気概 彼らは20代





# 長浜サンタさん 温もりありがとう

村松明日香さん 12歳(滋賀県)

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」

「プレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。私もプレゼントをもらって喜ぶみんなの姿を見て、私も嬉しくなりました。」



## HAPPY NEWS 小学生

小学生から届いた  
HAPPY NEWSです。

### どこのだれかは 知らないけれど

「今年もサンタさんがやってくるよ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。



### 今年もサンタさんがやってくるよ

「今年もサンタさんがやってくるよ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 名明かさず30年 子どもに夢と贈り物

「名明かさず30年 子どもに夢と贈り物」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 命の誕生助言で支える

「命の誕生助言で支える」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 虐待被害児訪ねミット打ち

「虐待被害児訪ねミット打ち」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 信じられる大人いる

「信じられる大人いる」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 友情と勇気が生んだ

「友情と勇気が生んだ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 初めての消火器

「初めての消火器」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 相模原の小4

「相模原の小4」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 仲間しコンビ

「仲間しコンビ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### お手柄

「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

# 面接官に「これが最後」

## 合格おめでとう！ 心から拍手

後藤啓子さん 59歳(大分県)



### 虐待被害児訪ねミット打ち

「虐待被害児訪ねミット打ち」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### ボクサー坂本博之さん

「ボクサー坂本博之さん」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 生い立ち重ね激励

「生い立ち重ね激励」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 信じられる大人いる

「信じられる大人いる」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 友情と勇気が生んだ

「友情と勇気が生んだ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 初めての消火器

「初めての消火器」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 相模原の小4

「相模原の小4」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 仲間しコンビ

「仲間しコンビ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### お手柄

「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。



面接官の目を見て、きっぱり答えた(写真は2010年度教員採用試験の面接会場)

### 特技を生かし 愛のメッセージ

平田万里さん 25歳(愛知県)

### 信じられる大人いる

「信じられる大人いる」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 友情と勇気が生んだ

「友情と勇気が生んだ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 初めての消火器

「初めての消火器」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 相模原の小4

「相模原の小4」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### 仲間しコンビ

「仲間しコンビ」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

### お手柄

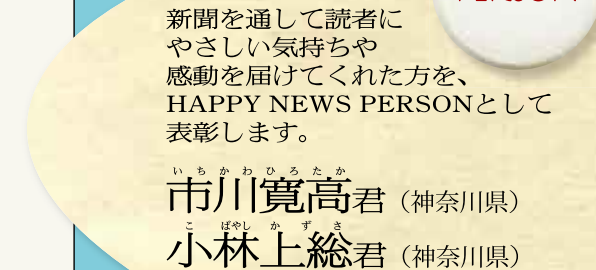
「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

## HAPPY NEWS PERSON

新聞を通して読者にやさしい気持ちや感動を届けてくれた方を、HAPPY NEWS PERSONとして表彰します。

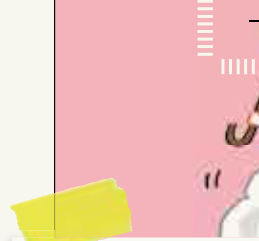
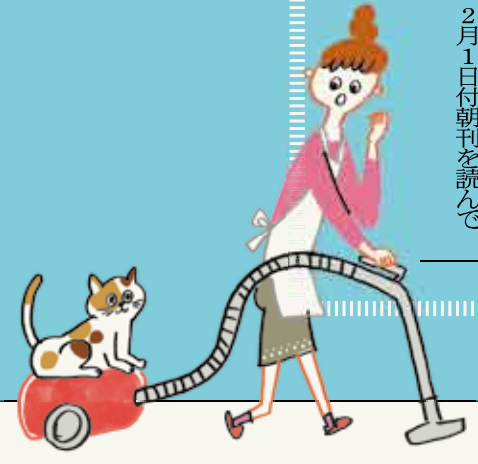
市川寛高君 (神奈川県)  
小林上総君 (神奈川県)



「市川寛高君、小林上総君」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

「市川寛高君、小林上総君」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。

「市川寛高君、小林上総君」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。



「感動と発見の毎日」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。



「お手柄」と、毎年のように聞かされる。でも、どこのだれかは知らないけれど、今年もサンタさんがやってくるよ。





**川沿いは春の装い**  
 菜の花眺め  
 散策楽しむ  
 加賀市 加賀市  
 加賀市川沿いの菜の花が、60年分咲き、見頃を迎えている。市民は、菜の花を眺め、春の装いを楽しんでいる。加賀市は、菜の花の散策を楽しむために、川沿いに散策コースを設定している。市民は、菜の花を眺め、春の装いを楽しんでいる。加賀市は、菜の花の散策を楽しむために、川沿いに散策コースを設定している。

**HAPPY NEWS 高校生**  
 高校生から届いた HAPPY NEWSです。

**誰かのために花を植え**  
 小崎真穂さん 17歳(鹿児島県)

**アフガンで眼科開設へ**

**信大で研修中の医師シャムスさん**  
 信大で研修中の医師シャムスさん。アフガンの眼科医療の現状を説明している。シャムスさんは、アフガンの眼科医療の現状を説明している。シャムスさんは、アフガンの眼科医療の現状を説明している。

**学びたい 64歳一念発起**

**元漁師の井上さん 三重短大入学**  
 元漁師の井上さん。三重短大に入学し、学びたい一念発起した。井上さんは、元漁師で、三重短大に入学し、学びたい一念発起した。井上さんは、元漁師で、三重短大に入学し、学びたい一念発起した。

**HAPPY NEWS 中学生**  
 中学生から届いた HAPPY NEWSです。

**自分の未来にわくわく**  
 黒田菜津美さん 14歳(三重県)

**いいね! 市民からのアフガン支援**

**宮川 愛さん 16歳(長野県)**  
 私には海外の医療への支援が、とても興味があります。アフガンの医療支援は、市民からの支援が重要です。宮川さんは、アフガンの医療支援に興味を持ち、市民からの支援を呼びかけています。



**はじける笑顔 元気をありがとう**  
 小藤理紗子さん 14歳(熊本県)



**最後の思い出として作るピラミッド**  
 長崎・池島 インドネシアの6人



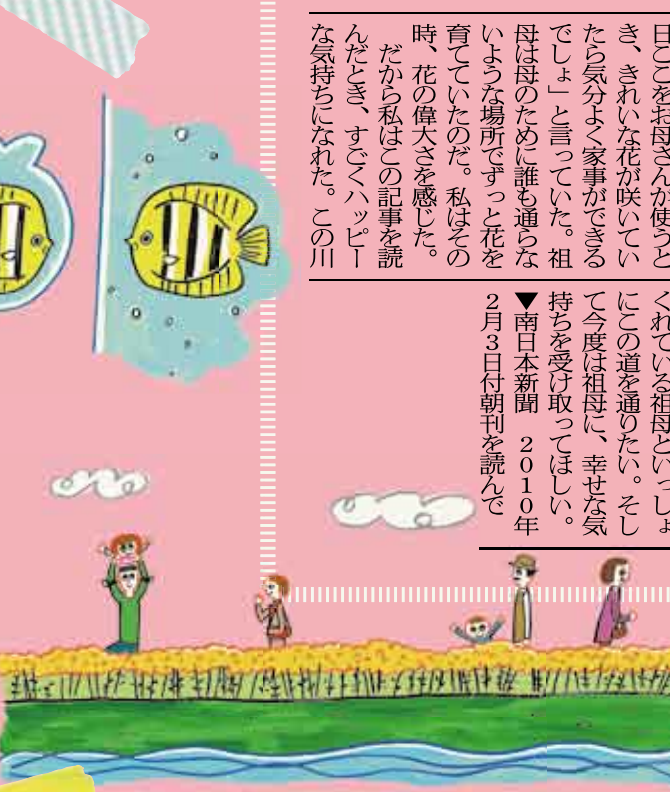
**今日、日本で最後の運動会**  
 長崎・池島 インドネシアの6人。日本で最後の運動会が行われ、参加者たちは涙を流して感動した。

**飲む脱毛抑止剤、高まる注目**

**「出会いに自信を」切実**  
 効果は個人差があるようですが、飲む脱毛抑止剤の注目が高まっています。多くの女性が、脱毛を抑止する効果のある飲み薬に興味をもち、注目を集めています。

**「髪」の将来に朗報 15歳の心配に処方せん**

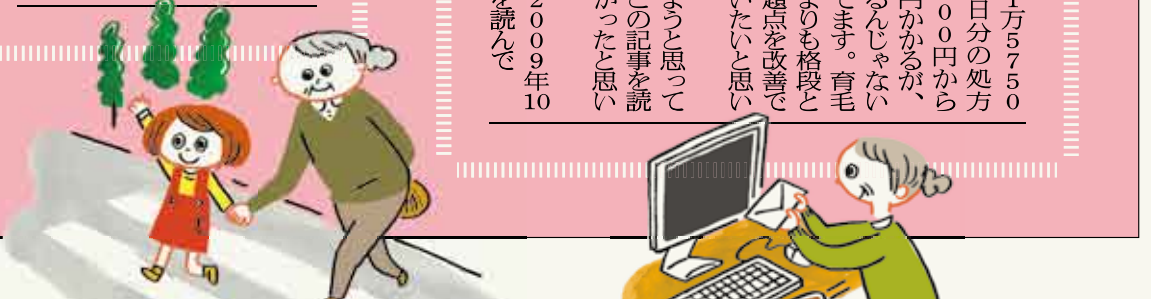
**藤木智己さん 15歳(三重県)**  
 この新聞記事を見てうれしくなった理由は、髪が抜けにくくなるからです。15歳の藤木さんは、髪が抜けやすくて悩んでいましたが、新聞記事を読んで希望を抱きました。



**戦地から父の愛100通**  
 60余年後 古希過ぎ知る  
 戦地から父の愛100通。60余年後、古希過ぎ知る。父の愛が伝わる手紙が、戦地から届いた。

**両親に感謝の手紙を書きたい**  
 大杉真由さん 17歳(東京都)

**父の愛100通**  
 戦地から父の愛100通。60余年後、古希過ぎ知る。父の愛が伝わる手紙が、戦地から届いた。







新聞は、番組の本番前には原稿と照らし合わせ目を通します。後は帰りの車の中や細切れに、僕にとって新聞を読むことは、言わば確認作業。そのニュースの背景など、オンタイム内に伝えきれなかったことを、ちゃんと自分なりに解して、わかりやすい言葉で補つのが僕の仕事です。3紙以上。常に自分の考えが偏らないように心掛けています。

僕にとって新聞は仕事柄、必要不可欠なものですが、本音を言えば娯楽として読みたいメディア。僕の知り合いに新聞が大好きな人がいて、家ではいつも新聞ばかり読んでる。奥さんに「私と新聞どっちが好き？」と聞かれたら、「どっちも好きです。その奥さんは申し訳ないけど、でもそれくらい新聞は面白いです。毎日読んでいて、ニュースが連続してラマやテレビのドキュメンタリーのような感覚で頭に入ってくるんです。続きが気になって仕方ないですよ。コラムなども日々感じしながら読んでいます。『徳田草からよめる』の事件は凄いな。僕のトクでは無理だな」とか否々な

「PROFIE」  
1963年4月27日島根県生まれ。牡牛座。B型。朝日放送のアナウンサーを経て、2004年に降板してフリーアナウンサーとして活動。現在、「情報ライブ ミヤネ屋」(日本テレビ系)ほか出演中。趣味はゴルフとランニング。

新聞は社会人の  
鎧と刀みたいなもの。



福山雅治さん

メディアを代表して  
まとめのレポートを出してくれるのが新聞

「そのお母さまは、いまもお元気ですか。はい、元気ですよ。そういえば、ときどき新聞の切り抜きを送って来ます。僕が新聞に取り上げられるのは、母に送って来ます。朝、食卓で新聞を広げるお父さんの姿というのが一種の日本的風景かと思えますが、福山家では僕が父を高校生のときに亡くしているんですが、新聞を置いて読んで父の姿というのが確かに記憶にありますね。読んだ新聞を畳の上に広げて、そこで足の爪を切ったりね。新聞というものは、読んだあといろいろな使えるところがスゴいですね。即時性ならネットにかなわないけれど、新聞のスピード感、他にはどんなことかと思えますか。新聞というのは、歴史のあるメディアだから、優れた人材や取材力を持っていると思うんです。だから「確認のための信頼できる媒体」というか、第一報はテレビやインターネットで知ってるけど、その後で正確な情報をまとめて読む。そんな役割を持っていると思います。いづれは、メディアを代表して毎日、まとめのレポートを出してくれ

「そのお母さまは、いまもお元気ですか。はい、元気ですよ。そういえば、ときどき新聞の切り抜きを送って来ます。僕が新聞に取り上げられるのは、母に送って来ます。朝、食卓で新聞を広げるお父さんの姿というのが一種の日本的風景かと思えますが、福山家では僕が父を高校生のときに亡くしているんですが、新聞を置いて読んで父の姿というのが確かに記憶にありますね。読んだ新聞を畳の上に広げて、そこで足の爪を切ったりね。新聞というものは、読んだあといろいろな使えるところがスゴいですね。即時性ならネットにかなわないけれど、新聞のスピード感、他にはどんなことかと思えますか。新聞というのは、歴史のあるメディアだから、優れた人材や取材力を持っていると思うんです。だから「確認のための信頼できる媒体」というか、第一報はテレビやインターネットで知ってるけど、その後で正確な情報をまとめて読む。そんな役割を持っていると思います。いづれは、メディアを代表して毎日、まとめのレポートを出してくれ

INTERVIEW

私にとっての新聞



宮根誠司さん



柴田大介先生に  
聞きました

専修大学附属高等学校  
09年度最多の応募数、3年間連続応募!

2、3年生が公民科の時間を使って取り組まされたが、HAPPY NEWSという視点で新聞を読むと、ふだんとは違った新聞記事が発見できます。具体的には、授業前の3分間を使い最近の気になるニュースにコメントを書いたり、定期的に新聞記事を使ったリポートの提出を行っています。HAPPY NEWSは4月から夏休みまでの新聞リポートの中で、各生徒が一番HAPPYなと思うものを応募しました。

道関直哉先生に  
聞きました

福井県勝山市立  
勝山北部中学校  
全校で応募!

日本新聞教育文化財団のNIE実践指定校として、09年から取り組まされた。HAPPY NEWSを題材に、表現力を競う「ハッピーニュース」スリートーナメント」を全校で実施。全校生徒が切り抜いた記事を手に入れた交流もあって、内容を競い合ったり感想や考えをスピーチしました。全校で取り組むことで、学年を超えた交流も生まれ、学校全体の団結力にもつながっています。このほかにも、朝や昼食時の校内放送でも新聞のコラムを読みあげたり、新聞を活用しています。

※NIE(Newspaper in Education=エヌ・アイ・イー)学校などで新聞を教材として活用すること



▲『心がぽかぽかするニュース HAPPY NEWS 2008』(文藝春秋) 152ページ 1,000円(税別)



HAPPY NEWS  
学校賞

両校の先生に  
HAPPY NEWS キャンペーン  
取り組みについて聞きました。

HAPPY NEWS 2009  
こうして実施しました

たくさんのご応募  
ありがとうございました

【応募要項】

①2009年4月1日以降の新聞を読んでHAPPYになった記事の切り抜きを同封のうえ、②記事の掲載日、掲載紙名、朝・夕刊の別、③HAPPYになった理由(400字以内)、④郵便番号、⑤ご住所、⑥お名前、⑦年齢、⑧性別、⑨職業(学校、学年)、⑩電話番号を書いてご応募ください。インターネットで応募の場合は、①の切り抜きを別途郵送。

【応募締め切り】

第1回締め切り：2009年9月30日(水)  
第2回締め切り：2010年2月20日(土) ※いずれも当日消印有効

【応募対象】

2009年4月1日から2010年2月20日の新聞に掲載された記事(新聞広告や読者からの投稿は除く)。※2010年2月21日から28日のHAPPY NEWS に関するのみ、2月中も応募を受け付け。

【審査・表彰】

日本新聞協会が応募された記事とコメントを審査し、「HAPPY NEWS 大賞」1件、「HAPPY NEWS一般」9件、「HAPPY NEWS 小学生(以下を含む)」「HAPPY NEWS中学生」「HAPPY NEWS高校生」を各3件選定。  
・「HAPPY NEWS 大賞」30万円相当の副賞  
・「HAPPY NEWS 一般」10万円相当の副賞  
・「HAPPY NEWS 小学生/中学生/高校生」2万円相当の副賞  
また、2009年度に新聞記事を通して各地にHAPPYな気持ちをもたらした人を「HAPPY NEWS PERSON」として顕彰。さらに、熱心に取り組んだ学校の中から「HAPPY NEWS学校賞」を選定。

HAPPY NEWS BOOKS

HAPPY NEWSは  
毎年、本になっています。



表彰式プレゼンター  
杏さん



普段からよく新聞を読みますか。父の仕事の関係で家で一般紙2紙、スポーツ紙2紙を購読していたので、子供のころから自然に親しみました。小さいころは折り紙や絵を描いたり、その裏に絵を描いたり。少し大きくなってからは小学生向けの新聞も読んでいました。親との会話もあれ知ってた?とか新聞記事を話題にしたものが多かったんです。

「PROFIE」  
1986年、東京生まれ。海外のコレクションでも活躍。最近では女優として映画「BAD AGE」「NHK大河ドラマ天地人」「華麗なオババ」「泣かないと決めろ」に出演。ラジオのパーソナリティやテレビのMCを務め、雑誌でも連載をもつなど、多岐に活動している。今秋には初舞台となるミュージカル「アントム」にも出演決定。







INTERVIEW

小泉今日子さん

新聞を読むときはハッピーニュースを探して読んでいます



「ハッピーニュースに賛同してくれていると聞きま...」

「具体的にはどんな記事でハッピーに?」

「新聞にまさか載るとは思っていなかった、そんな、いたずら系のニュースを見つけて出してもらえると、おかしくていい。」

「新聞の記事には結構ハッピーニュースもあるんですが、気付いてもらう、よい方法はありますか。」

「新聞がなくても困りませんか。」



か。

テレビ欄と四コマ漫画と... あとは、週末、映画を見に行こうと映画館の情報を見ることが、それぐらい。

「現在?」

「新聞を2紙とっていましたが、ちょっと前に引越して、バタバタしていて、ちょうど今は取っていないんです。それまでは、朝、新聞を持って、仕事場に行く車の中や、待ち時間に読んでました。若いときには記事を切り取って、詞を作るの参考にしてたりしてました。演劇の評を読んでも、これ、見なきゃと行くこともありますし、新聞で見た料理の献立を作ることもあります。」

「興味された情報を信頼しています」

「新聞がなくても困りませんか。」

「新聞を読まずにしていると、ふっと不安になるんです。今、世の中、どうなっているんだっけ、何が起きているんだろ、と。忙しくていて、情報が入ってこない、何も知らずにいる。それが怖くなる時がありますね。そうすると、あわててテレビをつけたり、パソコンでインターネットを見たりします。」

「インターネットはよく使われますか。」

「インターネットは知っていた情報をピンポイントで得られるので、便利です。」

ね。台本を読んでいて、知らない土地とか出てくると、最初はインターネットで調べるんです。それから、本を買ったりとか。」

「インターネットと新聞は違いますか。」

「私自身の経験で言えば、一般紙の記者の人がインターネットで書いてくれた記事で間違っていたことは今まで一度もないですね。雑誌なんかだと、取材もされていないのに記事が出ていて、間違っていることがあるんです。新聞で書評を書いているんですが、担当の方が、私と同じ本を読んでいるとできないような指摘をされることもあります。これも、新聞だけですね。新聞の記事は、それが本当のことかきちんと調べているし、選ばれた情報が発信されていますよね。そういう信頼があります。」



「PROFILE」

女優/歌手。1966年生まれ。1982年にデビュー、「キョンキョン」の愛称で親しまれている。ヒット曲に自ら作詞した「あなたに会えてよかった」(優しい雨)など。空中庭園で第48回ブルーボン賞主演女優賞、「グーグー」で猫である「トウキョウソナタ」で芸術選奨文部科学大臣賞・映画部門など、数多くの賞を受賞している。

「これから新聞を読んでも、夕刊がいいですよ。朝刊は厚くて、どこから読んでい...」

「これからは夕刊を...」

「新聞を読んでも、夕刊がいいですよ。朝刊は厚くて、どこから読んでい...」

「新聞を読んでも、夕刊がいいですよ。朝刊は厚くて、どこから読んでい...」



日本新聞協会ウェブサイト

「よんどく!」

http://www.readme-press.com/



日本の新聞・通信社 日本新聞協会加盟の新聞・通信社です。同協会ウェブサイト (http://www.pressnet.or.jp) から各社のサイトにアクセスできます。

- 東京地方/朝日新聞東京本社/毎日新聞東京本社/読売新聞東京本社/日本経済新聞社/東京新聞/産経新聞東京本社/サンケイスポーツ/夕刊フジ/ジャパントイムズ/報知新聞社...